



## “東京都は感染拡大本格化か？”（AI試算）

新宿区内では小学校だけでなく、中学校の学級閉鎖も実施されています

東京都では感染拡大が本格化し、新たな変異ウイルスの感染力が強い場合には、年末から年始に1週間平均での一日の感染者数が「第7波」のピークより多い、およそ3万6000人に上る可能性があるとしてAI（人工知能）を使った試算の結果を出しました。

- 引き続き
- 手指の消毒
  - 換気
  - マスクの着用など感染対策を！



(日本経済新聞)



## マスクの効果

マスクは布やウレタンよりも不織布の方が効果が高いことが示されています。隙間のないように顔にフィットさせ、正しくつけるようにしましょう。マスク着用の主な目的は、会話や咳による飛沫の飛散や吸い込みを防ぐことです。近年の研究では飛沫を出す側と吸い込む側、両者の距離感やマスクの着用状況、マスクの素材（性能）によっても、防御効果に大きな違いが生まれることがわかっています。

## マスクの正しい着用

- マスクを鼻に隙間なくフィットさせ、しっかりと着用しましょう。
- 品質の確かな（できれば不織布）ものを着用しましょう。



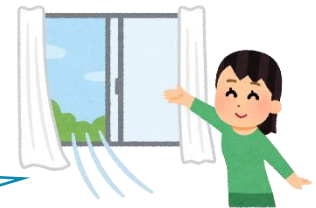
## こまめな手洗い、手指消毒

- 共用物に触った後、食事の前後、公共交通機関の利用後などは必ず手洗い・手指消毒しましょう



## 換気

- 寒くなくても、休み時間ごとに換気をしましょう。



きりとり

ひとこと（保健室へのご質問・ご意見がありましたらお寄せください）

四谷中学校

# インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の療養期間のまとめ

## インフルエンザ

◎潜伏期間：1～3日

◎療養期間：発症後5日間を経過し、かつ解熱後2日経過していること（最短6日目から登校可）

例えば、発症後2日目に解熱した場合



例えば、発症後4日目に解熱した場合



◎登校再開時の注意：登校時に**治癒証明書は不要**となりましたが、**出席停止期間、健康状態の確認**が必要。症状が残っている場合は、早退させ自宅療養を促します。

**学校の感染拡大防止は、みなさんの協力で成り立ちます！！**

★生徒やご家族の体調不良で、PCR検査や抗原検査を実施した場合、結果がわかるまでは自宅待機のご協力をお願いします。（なお、この期間も出席停止扱いになります。）

## 新型コロナウイルス感染症の療養期間、濃厚接触者の待機期間が見直されました

### 新型コロナウイルス感染症

◎潜伏期間：2～5日

◎療養期間

#### 1. 陽性になった場合

①症状がある場合 → **8日目から登校可**

※発症日（症状が出現した日）を0日として7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合

②症状がない場合（無症状者） → **8日目から登校可**

※検体採取日0日として7日経過

※5日目に新たに検査し、陰性結果 → **6日目から登校可**

#### 2. 濃厚接触者になった場合 → **6日目から登校可**

いずれか遅い方を0日とする

・患者の発症日（無症状の患者は検査日）

・家庭内でマスクの着用、手洗いなどの感染対策を始めた日

※同居家族の中で別の家族が発症した場合は、改めて発症日が0日目となる

※薬事承認された「抗原定性検査キット」により、2日目と3日目に自費検査を行い、陰性が確認された場合には、3日目から登校することが可能となる

6日目に症状が残っている場合（微熱・咳込み等）は症状消失から1日間を空けた後登校可。

※療養期間が明けて登校してきた時に症状が残っている場合は、早退させ自宅療養を促す。

※発症から10日間経過後は、感染力がほとんどなくなるため発熱・咳込み等がなければ登校可。

**毎朝の健康チェックを  
忘れずに!**

